

信州

行きたい

青木村・五島慶太の生家

東急電鉄社長を務め、日本の教育、美術界にも功績を残した実業家、五島慶太（1882～1959）の生家が、当時の姿のまま青木村に保存されている。殿戸地区の殿戸峠入り口に建つ築約150年の生家は長年の風雪に耐える。



「家の中も昔のまま。慶太さんと幼なじみだった祖母から『とても勉強熱心だったが、トランプ遊びも上手だった』と思いい話をよく聞かされた」

●五島慶太の生家。春先には手前の土手に福寿草が黄色い花を咲かせる●五島慶太翁記念公園に建つ碑＝青木村で



当時の姿のまま保存

ま、農機具などは当時のまま。五島の勉強部屋と伝わる部屋もある。

五島（旧姓小林）は青木村に生まれ、村内の小学校に通った。旧制松本

島育英会などを通じ、教育文化振興にも尽くした。五島姓に変えたのは、結婚を機に妻の親族の家を継ぐためだったとい

（HP）に五島に関するページを作った。「村に偉人が居たということを知って子供たちに伝え、大志を抱かせたい」と願う。

中を卒業後、村に戻り、小学校の代用教員をしながら、進学の学費をためた。念願かない東京帝国大学に入学し、卒業後は東急電鉄社長や運輸通信大臣など官民界で活躍。五島美術館（東京、没後に設立）や学校法人・五島育英会などを創設。HPを作成した村職員

【渡辺 暁】